

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年9月2日 NO.18(116)

5年生野外体験教室速報・・・その2

1日目の夜は、山登りと高原てくてくでの疲れもあり、皆良い子で静かに就寝？してくれました。17日・18日の二日間とも保健室で寝る子が1人もなく、健康管理バッチリな5年生には、益々感心の連続でありました。

2日目の朝も、皆が平熱で具合の悪い子もなく、魚釣りに無事に出発。川俣川釣り場にて、魚釣りの方法などを伝授してもらい、いざ川へ！早速入れ食い状態の子もいましたが、成果はまあまあといったところでした。イクラを餌にしてニジマスを釣りましたが、中にはヤマメをゲットする子もいました。何度もチャレンジしても釣れない子どものために、別の場所に連れて行ってくださり、全員が釣り体験をすることができました。その後、解剖実験のように魚をさばき、塩をふり炭火で焼き上げてから、美味しく頂き、にっこりにんまり顔の5年生でした。

次は宿舎に戻り、カレーライス作りとご飯焚きです。かまどに火をつける人、野菜を切る人、お米をとぐ人、それぞれの係を一生懸命にやりきり、皆で美味しく作った晩御飯に舌鼓。今日は朝から魚釣りとお飯作りで、自分で食べるものは、自分達で用意するという貴重な体験ができた1日であったと思います。

3日目は、酪農体験をするために滝沢牧場に行きました。インストラクターのお姉さんより、とても丁寧な事前説明の後、いざ！乳しぼり・餌やりへと移動しました。おまめちゃんというのは名ばかりの、巨体のメス牛の乳しぼりの始まりです。慣れない手つきでしたが、全員が体験しお乳を絞り出すことができ、5年生の満足顔が印象的でした。また、餌やりでは、牛タンにペロリとなめられ驚きながらも、キャーキャーワーワー！と大喜びしながら牛と接する子供たち。さらに、バター作りでは、滝沢牧場でその日の朝にしぼった牛乳をペットボトルに入れて、シャカシャカと根性入れて振り続けました。その結果、どの班でもたくさんのバターができ、美味しく召し上がることができました。インストラクターさんより、人間は、命あるものを頂き、自らの生命を保つことができるというお話も聞くことができ、様々な生き物に感謝すべきであること、さらに、日本の酪農事情についての様々な課題があることなど、たくさん学ぶことができました。お昼の後には、ほんの少しでしたが、牧場の草の上を走り回ったり、とび跳ねたり、アスレチックで遊んだりして、帰路につきました。

5年生のみんなが「楽しく仲良く元気よく！」の願いをよく守り、無事故で笑顔いっぱい帰って来れました。決まりをよく守り、友達と助け合い、自分自身の健康管理もきちんとできた5年生。たくさんのことを学ぶことができた八ヶ岳野外体験教室であったと思います。この貴重な体験を、これからの2学期の学校生活でさらに生かしてほしいと思います。そして、高学年として、国立七小のリーダーとして、今後も大きく成長してくれることを心より願っています。

